

TOPIC <

～被災自治体への23区連携対応～
「令和4年福島県沖を震源とする地震」
に係る被災地自治体への支援

令和4年3月16日、福島県沖を震源とする地震が発生し、福島県及び宮城県で負傷者や避難者などの人的被害のほか家屋倒壊による住家被害など、甚大な被害をもたらしました。

特別区は、災害救助法が適用された福島県及び宮城県に対して、23区共同で復興支援金を提供しました。

～特別区が連携して対応した主な災害支援～

- 東日本大震災（平成23年3月11日）
- 平成28年熊本地震（平成28年4月14日～16日）
- 平成30年7月豪雨（平成30年7月）
- 平成30年北海道胆振東部地震（平成30年9月6日）
- 令和元年房総半島台風（令和元年9月）
- 令和元年東日本台風（令和元年10月）
- 令和2年7月豪雨（令和2年7月）
- 令和3年福島県沖を震源とする地震（令和3年2月）
- 令和3年7月1日からの大雨による災害（令和3年7月）
- 令和3年8月11日からの大雨による災害（令和3年8月）

EVENT <

～令和4年度第1回全国連携講演会(オンライン)～
「豊かな地域づくりに向けた
官民連携のあり方を考える」

令和4年8月30日(火)

「豊かな地域づくりに向けた官民連携のあり方を考える」をテーマに、講演会（オンライン）を開催し、174名の方にご参加いただきました。

※講演会の内容は特別区全国連携プロジェクトHP
<http://collabo.tokyo-23city.or.jp/> からご覧いただけます。



特別区全国連携プロジェクト公式HP&Twitterによる情報発信 連携自治体の最新情報が盛りだくさん!

特別区全国連携プロジェクト公式HPでは、物産イベントや交流記念事業など、自治体の連携・交流事業を紹介しています。

また、公式TwitterではHPで紹介した事業を周知するほか、連携自治体のツイートの紹介や、各種事業のPRなど、様々な情報を発信しています。2つのツールを組み合わせる様々な魅力ある情報を発信し、全国連携の輪をさらに拡大させていきますので、特別区全国連携プロジェクト公式HPのチェックと公式Twitterのフォローをよろしくお願いいたします!



東京23区 TOKYO 23 CITY

全国連携 NEWS

日本を元気に!
23区から全国へ
全国から23区へ



vol. 6

発行・編集：特別区長会・公益財団法人特別区協議会
発行：令和4年9月27日

このNEWSは、東京23区が取り組む「特別区全国連携プロジェクト」を全国の多くの方々に知っていただくためのPR情報紙です。本紙は、次のHPからもご覧いただけます。
特別区全国連携プロジェクトHP <http://collabo.tokyo-23city.or.jp/>
特別区長会HP <https://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>
(特別区長会とは、東京23区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の発展に資するため、昭和22年5月1日に設立された特別区23区長が組織する任意団体です。)

特別区
全国連携プロジェクトとは?

東京を含む全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区（東京23区）と全国の各地域が連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトです。

明治安田生命と包括連携協定を締結 ～確実に広がる全国連携の輪～

特別区長会は、全国の自治体との連携に加え、民間企業との連携にも取り組んでいます。令和4年3月29日には、明治安田生命保険相互会社と多面的な連携・協力を推進することを目的に包括連携協定を締結しました。
主な連携事項は、産業・観光振興、地域課題解決に向けた対応、健康増進、特別区全国連携プロジェクトにかかる情報発信に関すること

の4項目になります。特に、異業種交流会を通じたビジネスマッチング等を行うことにより、地域産業活性化の醸成が期待されます。
今回の包括連携協定に



全国連携講演会（令和4年8月30日）
三菱総合研究所 主席研究員 北井氏

基づく取組みの一環として、令和4年8月30日に開催した全国連携講演会「豊かな地域づくりに向けた官民連携のあり方を考える」において、コーディネーターとして三菱総合研究所 主席研究員の北井渉氏をご紹介いただくなど、企画・運営にご協力いただきました。また、明治安田生命保険相互会社が進めている「地元の元気プロジェクト」の取組みについてご紹介いただくとともに、パネルディスカッションにご参加いただきました。

特別区長会 明治安田生命保険相互会社 包括連携協定締結式



包括連携協定締結式(令和4年3月29日)
山崎特別区長会会長(左)と永島取締役代表執行役社長(右)

各自治体の皆さまへ「会員登録」のご案内

特別区全国連携プロジェクトは、全国自治体の皆様を対象に、会員専用のHPを用意しております。会員登録していただきますと、掲示板機能を使った東京23区との連携事業に関する情報交換や本HP上での貴自治体情報のPRが可能になります。※登録・利用は無料です。

特別区全国連携プロジェクトの事業実施にあたっては、特別区長会と公益財団法人特別区協議会が連携して取り組んでいます。

お問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ
03-5210-9747 特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員登録に関するお問い合わせ
03-5210-9080 公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

“山梨の魅力”を特別区の皆様に

山梨県町村会では、特別区長会との連携協定締結に向け、平成30年2月から検討を開始し、令和元年10月26日に連携協定を締結させていただきました。以前から各特別区と連携を行っている山梨県内の町村もありますが、本会が特別区長会と協定を締結することにより、独自で足がかりを見つけることが難しく、これまで交流のなかった山梨県内の町村と特別区との橋渡しとなり、特別区の住民の皆さんに山梨県内の町村の魅力を発信し、興味を持っていただき、訪れ、住民同士の交流を深め、各町村の関係人口の増加の一助になればと考えています。

これまでは、連携協定の締結間もない令和2年の初めから新型コロナウイルス感染症のまん延に襲われたため、魅力発信イベントの中止やシンポジウム、講演会等のオンライン開催など、交流による効果が期待できる事業を行うことができませんでした。こうした中で、令和4年5月11日から6月23日まで、連携事業の一環として、「まるごと楽しむ とっておきの山梨～やまなしの魅力を感じよう、感動を味わおう～」と題して東京区政会館1階エントランスホールにおいて、山梨県内14町村の魅力を紹介する展示をしていただきました。

さらに関連イベントとして、5月27日と6月3日には、8町村が参加して特産品を販売する物産展も開催していただきました。山梨県内には、富士山、富士五湖、南アルプス、八ヶ岳高原などの有名な観光地、ブドウやモモ、ほうとうなど全国的に知られている特産品がありますが、今回の展示と物産展によって、山梨県内の町村のあまり知られていない魅力的な地域や特産品を知り、

訪れ、ファンになっていただくことができれば、関係人口の増加につながっていくのではないかと大きな期待をしています。

今後も特別区の皆さんにご協力いただきながら、全国連携プロジェクトを通じて山梨県内の町村の魅力を発信し、特別区の方々や山梨県内14町村とが交流を深めることができるよう努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



山梨県町村会会長(小菅村長)
松本 直美



展示の様子を見学する松本小菅村長(左)と岡部丹波山村長(右)

EVENT 令和4年度第1回全国連携展示(山梨県町村)

「まるごと楽しむ とっておきの山梨
～やまなしの魅力を感じよう、感動を味わおう～」

令和4年5月11日(水)～6月23日(木)

山梨県町村会との連携事業として、山梨県14町村*の魅力を紹介する展示を東京区政会館で開催しました。

*市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、昭和三町、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村



東北絆まつり2022秋田 を終えて

令和4年5月28日(土)、29日(日)の2日間にわたり秋田市で開催した「東北絆まつり2022秋田」は、県内外から約11万人のお客様にご来場いただき、無事終了いたしました。コロナ禍という新たな苦難に立ち向かう状況において、「今こそ、心の火を灯せ 輝く東北へ」のテーマのもと、スタジアムで実施した3年ぶりのパレードは、まさに新たなスタートとなりました。東北を代表する夏祭りである「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」「福島わらじまつり」が一体となって展開される様子は圧巻のひとことであり、力強い東北の象徴であるその姿は、満員のお客様をはじめ東北の人々に大きな感動と力を与えてくれました。このほか期間中は、メインステージでの東北6祭りの披露やブルーインパルス展示飛行、県内郷土芸能の演舞などのまつりの様子を公式YouTube等でLIVE配信するなど、これまでの東北の復興支援に対する感謝と東北の元気な姿をより多くの方へ発信することができました。

「東北絆まつり」は、東日本大震災の復興と鎮魂を願い平成23年に始まった「東北六魂祭」の魂を受け継ぎ平成29年に仙台市でスタートし、その後、盛岡市、福島市、山形市での開催を経て令和4年の秋田市開催で5回目となりました。東北は、厳しい復興の道のりの中で固く結ばれた絆を、同まつりの開催等の様々な連携を通して、より強固なものに育ててまいりました。さらにはその道のりの中で、特別区長会をはじめとする全国そして世界の皆様と繋がり、あたたかい絆を育むことができたと感じています。このまつりは、その絆の証であり、



東北絆まつりパレード

各地に根差した多彩な文化、復興を目指し明るい未来を見つめて前進する東北の姿、そして東北を思う人々への心からの感謝を伝えていくまつりとして位置づけられています。

特別区長会におかれましては、平成27年の東北六魂祭秋田からこれまで特別区全国連携プロジェクトの一環として、多大なるご支援をいただき、心から感謝申し上げます。来年は青森市での開催が決定しております。これからも東北は心をひとつに、さらなる復興への歩みを進めるとともに、東北6祭りをはじめとする各地に根差した多彩な文化で人々の心の火を照らし、明るい未来を創造してまいります。そして、「東北絆まつり」の開催を通して、これまでの東北復興支援に対する感謝を引き続き世界中に発信してまいります。

(東北絆まつり実行委員会)

TOPIC

「東北絆まつり2022秋田」で
特別区のPRを行いました

東京23区・特別区長会は、令和4年5月28日(土)・29日(日)に秋田市で開催された「東北絆まつり2022秋田」に特別区全国連携プロジェクトの一環として支援・協力を行うとともに、ブースを出展し、本プロジェクトのパネル展示や各区のPRパンフレットを配布するなど、特別区のPRを行いました。

東京23区・特別区長会は、これからも「東北絆まつり」を応援していきます。



開祭式での成澤副会長(文京区長)の来賓挨拶